

かのうの子



東御市立和小学校学校だより 令和3年7月号

☆新型クラブ活動スタート☆

19年前から続いてきた伝統行事「ドリームかのう」。全校児童を対象として大規模に行ってきましたが、準備や打ち合わせなどに多くの時間がかかることから、2年前から見直しをしてきました。「興味関心を同じくする異年齢の子どもたちが集まって、自主的な活動をする」というクラブ活動のあり方をもとに再度考えました。そして、昨年度、4年生以上の参加、年1回を2回とし、子どもたちの希望を最優先した活動にしたいと計画していましたが、コロナ禍の中で1回目は中止、2回目はかろうじて実施できました。今年度は、18日（金）に、10コースに分かれて第1回の新型クラブ活動を実施することができました。次回は、9月10日（金）です。活動に夢中になる子どもたちの姿を紹介します。



たくさんの花を使って、私だけのフラワーアレンジメントができました。



茶道の作法を学び、自分でお茶をたてておいしくいただきました。



ボッチャに熱中し汗だく状態、ボールが思うように転がりません。



ビー玉と木片をくっつけて、かわいらしい置き物を作りました。



手芸では、糸と針を使って小物づくりに取り組みました。



足し算掛け算、魔法陣など、数の不思議を体験しました。



将棋の対局を、友だちや先生と楽しみました。



割れやすい卵の殻と細かい飾りを使った壁掛けを作りました。

この他、大人気のバドミントンや卓球は、スポーツ推進委員の方々に教えていただきました。普段、教室では体験できない、自分の興味関心で選んだ活動を楽しんだ1時間半でした。講師の皆様には、準備やご指導に大変お世話になりました。第2回もよろしくお願いいたします。

シャボン玉飛んだ 屋根まで飛んだ？



3 竹はシャボン玉づくりにチャレンジしています。タブレットを使って、シャボン液や道具を調べ、先日材料を持ち寄ってやってみました。シャボン液には、洗剤の他に、洗濯のりやグリセリン、ガムシロップ、ラム酒まで入れて試してみました。固形石けんを使った子は、十分に溶解せずに次回再挑戦します。道具もストローやうちわ、モールなども試しました。夏休み後は、シャボン玉づくりの専門家に来ていただく予定だそうです。

3 松の樹木調べも順調で、大川のお金さんに来ていただいて、学校の樹木の名前を教えてくださいました。今後も、もっと多くの樹木を調べて、ラベルを作成する予定です。

浮かぶかなア？ 巨大ペットボトル いかだ



2 年生両クラスは、全校にも呼び掛けてたくさんのペットボトルを集めました。子どもたちがのることができる巨大いかだを作って、プールに浮かべる計画です。2 個一組のペットボトルのキャップ同士をガムテープでつなげ、それを更に 10 組つなげてパーツを作ります。そのパーツの組み合わせを考えながら、いかだの形にしていきます。夏休みのプール開放後に、一発勝負のチャレンジをします。どのような結果になるかとても楽しみです。他の学年もペットボトル集めに協力していただき、感謝いたします。

ミム (MIM 多 層指導モデル) の学習



促音 (きっぴ、こっぴ)、拗音 (しゃもじ、きんぎょ)、長音 (いもうと、おかあさん等の伸ばす音) 等、日本語は難しいですね。それらの読み方を学習することを通して、つまずいている子を早期に見つけ、修正していく支援をミムと言います。読みの能力は、学習活動全般に関係することから、つまずきが不適應・不登校につながらないように早期支援が有効です。昨年度まで、1、2 年生で実施してきましたが、確実に習得が高まりました。先日は、くるみ教室の先生が、1 年生にミム (この日は、長音の学習でした) を行いました。低学年のうちから基礎的な国語力を高め、早めの支援をしています。

平泳ぎ金メダリスト

金藤理絵選手

6年水泳教室



13日(火)、オリンピック水泳平泳ぎ金メダリストの金藤理絵さんが、6年生に水泳指導をしてくださいました。指導前に、本物の聖火リレーのトーチと金メダルを見せてくださいました。テレビ画面で見るとはあっても実物は初めてで、実際に触った子どもたちは大興奮でした。

プールでは、水に慣れる運動の後、クロールと平泳ぎの指導がありました。平泳ぎの指導で、金藤さんの実際の泳ぎを見た子どもたちは、ストロークとキックの強さにびっくり。25mを7回かただけで泳ぎ切ってまたびっくり。金メダリストのお手本を見て、練習にも熱が入りました。1時間の指導でしたが、本物に出会えた貴重な体験ができました。

がんばれ！

モルドバ共和国選手団

東京オリンピック・パラリンピック



いろいろな経緯をたどりながらも、いよいよ東京オリンピック・パラリンピックが始まります。東御市がホストタウンになっているモルドバ共和国の選手も出場します。予定されていた交流活動は、全て中止となりましたが、モルドバ選手団に応援の気持ちを届けようと、市から依頼された応援旗づくりに5松の子どもたちが取り組みました。さっそくタブレットでモルドバ共和国のことを調べ、国の位置や言語などを確かめました。応援メッセージを書いた旗と、休み時間や家で作った555(ゴーゴーゴー)羽の千羽鶴とくす玉を東御市の担当者にお渡ししました。後日、選手団に届けてくださるそうです。がんばれ、モルドバ！がんばれ、日本！

願いを込めた七夕飾り

コロナウイルスが

早くおさまりますように



4年生が樹木園の竹を切り、校長室や職員室、玄関、廊下などにたくさんの七夕飾りを飾りました。1年と6年の仲よし学級でも、昇降口に飾ってくれたので、学校中が七夕の雰囲気になりました。ウィズ・コロナ時代を反映してか、「コロナウイルスがおさまりますように」「家族が健康で過ごせますように」という短冊が最も多く見られました。また、将来の夢や苦手なことの克服など、自分の今後のことを書いた子もいました。子どもたちの願いが、天まで高く高く届きますように。

参観日 上原薬剤師さんのお話



今回も教室の密を避けるために、分散型授業参観を行いました。低・高学年に分かれた日程でしたが、健康チェックカードの数から、たくさんの方が参加して下さったことがわかりました。授業参観と同時に、学校薬剤師の上原さんに、『新型コロナウイルスのワクチンについて』、ショート講話をしていただきました。ご自身の接種体験や身近に聞いたお話を紹介しながら、副作用のことやワクチンの効果について、コロナウイルス感染症の治療薬についてなど、最新の情報を交えて教えていただきました。感染症拡大の収束が見えない中、まだまだ油断することなく感染対策をしていかなくてはと強く感じました。

第1回 学校評議員会



第1回では、本校のランドデザインや学校評価の計画について説明しました。1学期の学習活動について、スライドを見ていただきながら子どもたちの様子を紹介しました。評議員さんからは、体験活動やICT教育、通学路、学校行事についてなどたくさんのご意見をいただきました。

8月の予定

3日(火) 公民館出前講座

7日(土)～17日(火)

学校リフレッシュウィーク(学校無人化)

緊急連絡先 市役所宿直 62-1111

8日(日) 山の日 オリンピック閉会式

9日(月) 山の日振り替え休日

19日(木) 2学期始業式

21日(土) PTA 資源回収(雨天決行)

24日(火) パラリンピック開幕

「木の見分け方は、葉っぱのウラを見たり、木の形や色を見たりする。木の見分け方はいっぱいあって、それぞれの木にはとくちょうがあるので、そのとくちょうを調べる。(たくとさん)」校内の樹木を調査した3年生が、大川の押金さんへお礼の手紙を書きました。その中の一文です。普段見慣れていて気にも留めなかった「木(もの)」が急に身近な、関わりたくなる「もの」になり、その「もの」への見方が変わっていったことがわかります。自分の疑問を調べ、自分なりに答えをもって臨んだ聞き取りだったので、なるほど! そうだったのか! と感じたことが多かったのでしょう。そういうタイミングで、外部の専門家に出会わせることもよかったと思います。

子どもたちは、興味関心の塊です。何でだろう、こんなことしてみたいと思ったときはチャンスです。周りがうまくすくい取って、後押ししてやれば、子どもたちはどんどん自分から行動を起こしていきます。そんな和っ子の姿を1学期たくさん目にしました。長い夏休み、子どもたちの見方を広げる絶好のチャンスです。

夏休み中、お困りのことやご相談がありましたら、学校までご連絡ください(Tel.62-0204)。ランドデザインにお示した相談窓口につながります。充実した夏休みをお過ごしください。

文責・制作：校長 教頭